

4月

2026.令和8年

自主サークル予定表

※3月19日現在の予定です。
変更になる場合がありますのでご了承ください

サークル名	開催日	予約時間	サークル名	開催日	予約時間
和紙ちぎり絵 風花会	13 27	2.4 月 12:30~ 15:30	おおぜき青空クラブ 麻雀会	2 9 16 23 30	毎週 木 13:30~ 16:30
大関ランチャーズ	6 13 20 27	毎週 月 18:00~ 21:00	坂井民踊クラブ	9 16 23	2.3.4 木 19:30~ 21:30
楽しく楽しく シェイプUP サークル	6 13 20 27	毎週 月・金 20:00~ 21:00	大関川柳会	10	2 金 9:30~ 11:30
	3 10 24		和楽体操	10 17 24	2.3.4 金 10:00~ 12:00
大関かるた会	7 14 21 28	毎週 火 19:00~ 21:00	3Bサークル	4 11 18 25	毎週 土 9:00~ 11:00
和紙絵 うすずみ会	15	3 水 9:30~ 11:30	大関山吹俳句会	25	4 土 13:00~ 16:00
和裁サークル	1 8 15 22	毎週 水 9:30~ 15:30	あみもの同好会	11 25	2.4 土 13:00~ 16:00
おとなの演劇部	8 22	2.4 水 18:30~ 20:30	茶悠会	11 25	2.4 土 13:00~ 16:00
ひより隊	1 8 15 22	毎週 水 19:30~ 21:30	大関生花サークル	18	3 土 19:00~ 21:00
元気が出る オカリナ教室	2 16	木 (月2回) 10:00~ 12:00	大関野菊短歌会	20	毎月 20日 9:30~ 12:30

※毎月第3日曜日と祝日は休館日です ※利用申請のない土・日曜日は閉館します

コミセンからのお知らせ

○令和8年度4月ご利用分から仮予約は行いません

下記のいずれかの方法でお申し込みください。

- ① 申請書の提出で予約となります。利用日の2日前(土日は含まない)までに窓口で申請をお願いします。
(平日 8:30~17:00)
- ② 「よやく〜る」で予約もできます。スマホやパソコンで24時間いつでも予約ができます。

※利用する際には、アカウント登録が必要です。

○使用を許可した時点で、許可内容に関する使用料が発生します

○令和8年度「市内のコミセン講座一覧表」を4月の第2木曜日に各戸配布いたします。

一覧表をご覧ください、気になった講座にお申し込みください。

○行政文書の配布日が変更になりました

月1回 第2木曜日のみ



☆大関まちづくり協議会の通称募集、たくさんのご応募ありがとうございました。今後、応募作品の中から選考委員による通称候補を数点選出します。選出した作品を、コミセンに貼り出し、来館者による投票を実施する予定です。

★★★★★
推しルポ

ガンバ大関!!



今回のガンバ大関は、長年にわたり大関コミュニティセンターを拠点に活動されてきた、「大関野菊短歌会」の皆さんを紹介したいと思います。会代表の石黒政子さん(新大味)と、会創設メンバーの野村秀子さん(大味上)にお話を伺いました。

Q.大関野菊短歌会は大関で一番古い文化活動団体だとお聞きしましたが、活動を始めて何年にになりますか?

A.昭和47年に大関短歌会は発足しましたので、もう54年ですね。大関野菊会として活動し始めたのは昭和52年8月からです。当時大関小学校の校長をされていた、土肥英二郎先生の指導を受けながら、月に1度の短歌会を長年続けてきました。土肥先生が亡くなられた後も、皆が先生役になり、楽しく短歌会を続けています。

Q.短歌の魅力をお教えてください。

A.【石黒さん】短歌を詠むとその時の気持ちが蘇るからいいなと思います。「これ短歌にできるかな?」と思うと物の見方が違ってくる。本を読んでも言葉に目がいく。言葉を探すのもおもしろいです。

【野村さん】 日常の出来事や感じた事を五七五

七七の31文字に表すのは、とても楽しいです。そしてこれが結構に頭を使うので、今ではボケ防止にもなっています。

Q.サークル活動での思い出話などをお聞かせください。

A.今は皆が高齢になってきたのでやっていませんが、以前は吉峰寺や琵琶湖畔の浮御堂などに吟行に行ったこともあります。それから5年に一度、合同歌集「野菊」を創設当初から発行してきました。今では第11号までそろいました。大関野菊短歌会の歴史が詰まっています。また、毎月、福井新聞の「福井歌壇」に応募し、掲載してもらっています。

Q.今後の抱負や地域の皆さんへのメッセージなどありますか。

A.これから皆が元気で月1回の短歌会を続けていこうと思います。本当に皆が楽しみにしているんです。ただ、新しいメンバーも募集しています。普段使いの言葉で歌にしていって現代短歌ですので、初心者の方でも気兼ねなくお越しください。お待ちしております。

Q.最後に、短歌の題材にしたい大関の好きな所などがあれば教えてください。

A.大関はおだやか。特に風光明媚な名所はないですが、のどかな田園風景や、今の時期ですと飛来したコハクチョウは良い題材ですね。あとは人の温かさですかね。

大関野菊短歌会の歌集「野菊」は大関コミュニティセンターのカフェコーナーでご覧いただけます。

編集後記

「まち協」という言い方は、なじみはあるけれどお堅いイメージがあるのかも。親しみやすい通称を募集していました!どんな名前が寄せられるか楽しみです。そして仲間と一緒にこんなことやりたい!楽しいことしたい!など活動を支援するサポーターを常時大募集!!みんなで作れば大関はいいなと思えるように盛り上げていきましょう!!(T.I)

大関を盛り上げてくれる仲間を募集します!

大関が大好き!大関をもっとよくなりたい!まちづくりに興味がある方、ぜひ一緒に活動しましょう。



LINE 公式アカウント
050wwwps 検索

Instagram
大関コミュニティセンター 検索

大関まち協メールアドレス
ohzeki-p@mx3.fctv.ne.jp
大関コミセンメールアドレス
ohzeki-cc@city.fukui-sakai.lg.jp

どすこい大関 ~大関をもっと面白く~

編集・発行
大関まちづくり協議会 広報委員会
大関コミュニティセンター内 坂井町坂井東12-5-1 TEL:0776/72-1957 FAX:0776/72-1935



大関をもっと面白く

どすこい大関

2026年3月号
Vol.35

大関まちづくり協議会・大関コミュニティセンター

CONTENTS

- まちづくりサポーター制度・・・(2~3)
- クリーンアップ作戦・・・(4)
- イルミネーション事業・・・(5)
大関えがお朝市
防災倉庫要望
- 短歌全国大会優秀賞・・・(6)
大関地区区長会
花壇最優秀賞
応援横断幕
- コミセン講座・・・(7)
放課後子ども教室
- ガンバ大関・・・(8)
編集後記



「大関まちづくり協議会」あなたの“得意” や“好き”が、誰かの笑顔に変わる場所。

やっばいなお大関！ あなたもサポーターに！

大関では、誰もが気軽に参加できる“サポーター制度”を進めています。

「楽しそう」「ちょっと気になる」その気持ちがまちづくりの第一歩です。
「イベントに行ったら、受付の人が笑顔で迎えてくれた。」
「子どもと一緒に参加したら、地域の人が優しく声をかけてくれた。」
そんな“ちょっと嬉しい”体験をつくっているのが、まちづくりサポーターです。「できることから」「無理なく」「楽しく」—— そんな気持ちで始められる活動です。



Q：サポーターって、特別なことができる人なの？

A：いいえ、「大関のことがちょっとでも気になる」なら誰でもサポーターです！

例えば、今こんなメンバーを募集中です！

「おいしい」の仕掛け人：子ども食堂で野菜を切ったり、おにぎりを握ったり。
「おいしいね」と言い合える時間を作るのが好きな方、大歓迎です。

「力仕事はお任せ」の力持ち：お祭りのテントを立てたり、重い荷物を運んだり。
短時間でも「ここ一番」で力を貸してくれる人は、地域のヒーローです。

「アイデア」を語る夢見がちなさん：「こんなことしたら面白くない？」とつぶやく人。
あなたのその一言が、新しい大関の名物行事になるかもしれません。

「サポーター」登録はこちら スマホで30秒！

※登録しても「絶対参加」ではありません。
「面白そうな出番」がある時にだけ、事務局からゆる〜くお知らせが届きます。



問い合わせ先：大関まちづくり協議会 TEL.72-1957



小・中・高校生のみんなも「サポーター」募集中！

大関は、キミたちの「やってみたい」を応援する地域です。学校以外の友達や、面白い大人たちと一緒に、何か始めてみない？

【保護者の皆様へ】子どもたちの活動を安全にサポートします。

※18歳未満の方は、フォームから保護者の方の同意を確認した上で登録をお願いしています。



OZEKI NEWS



全校みんなでクリーンアップ作戦

10月15日(水)秋晴れの下、大関小学校クリーンアップ作戦がありました。今年はグレードアップして全校児童が参加です。16の縦割りグループに分かれ、地域の人たちといっしょに校区の幹線道路をゴミ探検しました。まるで宝探しをするかのように草むらや側溝の中まで目を光らせる姿に、この経験はきっとその後の人生に生かされるに違いないと思いました。帰校後は学びの時間です。4年生以上の子どもたちで、気づいたことやポイ捨てを減らす方法を出し合いました。大人はまずできるか・できないかを考えがちですが、子どもの発想にはそれがありません。経験をもとに柔軟なアイデアが次々と出てきました。さすが大関小学校の子どもたちだと感心させられました。



地域も人も明るく照らしたイルミネーション

恒例のイルミネーション事業では、11月22日(土)に大関コミュニティセンターと大関駅にLEDイルミネーションの設置作業を実施しました。まちづくり協議会メンバーのほか坂井きらめきの方々も一緒に楽しみながら無事に設置することができました。今年度はメンバーの意見をもとに、コミセン南側にトラス型のイルミネーションを追加して、新しいイメージとなりました。地域の方々や近くを通る子どもたちからも好評だったようです。

2月15日には撤去作業を行いました。また来年度も大関を明るく照らす事ができればいいなと思いました。



大関えがお朝市

冬の先触れのような寒風吹き荒れる11月23日(日)の朝。告知で立てたのぼりも強くはためいています。そんな中、児童も集まり、収穫された野菜の分別や購買意欲をかき立てる値札を作り準備を整えます。朝市オープン時には陽射しも暖かくなり、皆のえがおを誘います。

“いらっしゃいませ〜” “ありがとうございますま〜ず”

地元農家の持ち寄った野菜も合わせて、元気な声のもと売り上げていきました。

来場者には、ふるまいのスムージーやたこ焼きもさばけていきました。えがおもお裾分け、次回も乞うご期待です。

大関地区の防災力向上への取り組み

大関地区では令和6年度から策定委員会を12回開催し、避難所開設運営マニュアルを策定することができました。防災訓練も実施しながら備蓄用の物品等の不足も確認できたので、3項目について、昨年12月15日(月)に坂井市長宛て防災備蓄倉庫の整備・補充等の要望書を提出しました。

- 防災備蓄倉庫の1棟増設及び物品等の補充について
- 防災倉庫周辺の整備について
- 地区の支援員(市職員)の防災訓練参加について

今年1月14日(水)には坂井市危機管理対策課から回答がありましたので、今後坂井市とも相談しながら大関地区の防災力向上のため、大関地区あげて取り組んでいきたいと考えます。





短歌の全国大会で優秀賞

高齢者の生きがいづくりや社会参加を図る目的で毎年開催されている、宮崎県社会福祉協議会主催の「心豊かに歌う全国短歌大会」において、大味上区の野村秀子さんが見事優秀賞となりました。12月6日(土)には、宮崎県で表彰式が執り行われました。

《作品》
エンディングノート私がわたしであるうちに
認めおかむ「ありがとう」を添えて



令和8年 大関地区区長役員(敬称略)

会長 田畑 信輔(大味上区)
副会長 川崎 義貴(島田区) 伊藤 之裕(上蔵区)

おめでとうございます。最優秀賞!

第20回坂井市花壇コンクールにおいて「大味下若菜会」が見事最優秀賞に輝きました。地域の環境美化推進のために整備された花壇が道行く人の目を楽しませてくれました。おめでとうございます。



令和8年第1回大関地区区長会

1月18日(日)に、第1回大関地区区長会が行われ、大関地区区長会の正副会長が選出されました。なお、会議では大関まちづくり協議会の盛政会長から、「区長各位のご協力を得ながら大関まちづくり協議会の活動を通して、大関地区をさらに盛り上げてまいりましょう」とのお願いがありました。

なお、会議では、「大関助け合いのまちづくり事業」の活動紹介もあり、まちづくりへの理解が進んだものと思えます。

応援横断幕

大関地区区長会と大関まちづくり協議会では、地域で活躍し、さらに成長する「大関の星」を地区住民の方々に広く知ってもらい応援いただけるよう大関コミュニティセンターに横断幕を掲示しています。



コミセン講座



越前カンタケ栽培教室

11月11日(火)、コミセン講座「越前カンタケ栽培教室」を開催しました。越前カンタケは福井県特産ブランド品の認定を受けたきのこです。今回の講座が初めての方も経験がある方も収穫を楽しみに、丹精込めて作業されていました。栽培し、管理状態が良ければ20日程度で出始め、継続して周期的に発生します。初めて収穫できた時には、「嬉しかった」と報告くださった方もいます。他にも「食べて美味しい」「味が濃い」と喜んでいました。

放課後子ども教室



米粉クッキーづくり

12月23日(火)、毛利かすみ先生にお願いし、米粉を使った、身体に優しいほんのり甘い型抜きクッキーを作りました。ビニール袋の中に材料を入れて混ぜる過程では、「気持ちいい〜」と感触を楽しんだり、クッキーの型抜きでは、いろんな形がたくさんできることに「たのしい」と思わず声があふれていました。家族分のクッキーも作り「みんなで食べたい」と楽しみに持ち帰りました。クリスマスが近いこともあり、毛利先生が音楽を流してください、クリスマス気分でも明るくとても楽しい教室になりました。

チャレンジ・ザ・ゲーム

1月30日(金)、坂井市レクリエーション協会の高橋和枝さんに来ていただき、「ふらば〜でバレーボール」と、「じゃんけんゲーム」をしました。ふらば〜は、球体ではなく三角形の変形ボールです。ルールは、バレーボールとほぼ同じですが、違うところは1度バウンドさせてから取るというところ。初めはバウンドさせるルールに慣れていないこと、バウンドすると予想外のところに飛んで行ってしまふことが難しかったようです。それでも、ラリーが続くと楽しんでいました。また、じゃんけんゲームでは、大人も加わり、盛り上がりました。

